

信用取引の実際について～アホルダーの防ぎ方（その2）

前回は信用取引のメリットについて説明しましたが、今回は信用取引におけるデメリットについて説明します。

信用取引では、レバレッジ効果が最大のメリットでもあり最大のデメリットでもあります。株価が上がった場合は大きく儲けることができますが、逆に株価が下がった場合は大きく損をすることになるのです。

例：B株が下がることを見越して、先にB株を 100 万円で売った場合

i) B株を借りる

ii) B株を 100 万円で売る (+100 万円)

その後、株価が 100 万円→130 万円に上がったとすると・・・

iii) B株を買い戻す

iv) 買い戻した株を処分する

v) 結局、 $100 - 130 = -30$ で 30 万円の損失となる

となるため注意が必要です。

またお金を借りて取引をする以上、弁済をする時には金利を払わなければいけません（大体2%前後）。さらに一般的な信用取引（制度信用取引という）では、6ヶ月以内に取引を決済（一連の株取引）しなければなりません。そのため、信用取引は短期売買向けの手法ということになります。

参考：株初心者！株・信用取引初心者入門ナビ <http://kabu-shinyou.main.jp/>